修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝未紀
東京都千代田区西神田
1丁目3番地(幅ビル)
電話(262)2426・2932
振替(東京)36337

財団法人 全国修学旅行研究協会 創立10周年記念号

全修協 創立10周年を迎う

多くの功績を残す さらに飛躍の第一歩

財団法人全国修学旅行研究協会はいまここに記念すべき創立十周年を迎えた。山本種一理事長をはじめ各役員、支部長、関係者の胸中に去来する感慨と喜びはいかばかりであろう。

思えば十年前、全国から馳せ参じた二十数名の都道府県教育委員によって組織された全修協は、山本理事長統率のもと、戦後の新情勢に対処する修学旅行の改善と向上のため立ち上がった。この運動に共鳴する同志は各府県からも参加、今や全国組織を持つ強力な運動母体として教育界に重きをなすにいたったのである。

感激の記念式挙行

11月8日 茗渓会館で

創立十周年を祝福する記念式は十一月八日午前十時から東京大塚の茗渓会館に諸官庁、自治体、教育団体、協力機関など各界代表や全修協役員、支部長ら二百余名が参集して挙行される。

式典は永井常務理事の開会のことばからはじまり、修学旅行の事故による物故者への黙とうと誓いの言葉、山本理事長のあいさつ、白滝理事から事業概要報告、永年勤続職員の表彰があったあと来賓の祝辞、祝電の披露があり、村山常務理事の閉式のことば、続いて祝宴、万歳を三唱して終了する。これに引き続いて総会を開催四十二年度事業計画など五議案にたいして審議が行なわれる。

この間、全修協指導のもとに各都道府県ごとに修学旅行委員会、あるいはブロックごとの同委員会も続々と結成され、修学旅行の改善に努力、これに呼応する役員のひたむきな教育への信念と熱情は関係官庁、各機関などを動かし、専用電車と船舶の建造に成功、輸送上の困難打開に寄与した。

そのほか政治的対策としては要保護家庭の児童生徒にたいする修学旅行補助金の増額要望を継続して行なっているほか、山間僻地などの小規模学校における支給制度の改正に成功するなど、その機能活動を十分に発揮している。

さらに修学旅行の改善向上のためには指導者である教職員の体験が大きく左右することに着目、現地での学習とリーダー養成とをかねた研修旅行を企画、すでに本年をもって十回を実施、参加した教職員は四万人を突破している。

そのほか研究団体としての活躍も目覚ましく、各種研究会や座談会の開催、研究や諸統計ないどの出版、新聞の発行など協会の目的完遂のため努力をかさねているこれらの諸事業は過去十年間に営々として積みあげられたものであり、この十周年を機にしてさらに全修協は大きな飛躍時代にはいろうとしている。

心から祝福を

文部大臣 有田喜一

財団法人・全国修学旅行研究協会がここに創立十周年を迎えられましたことは、まことにご同慶にたえないところであります。

修学旅行は生徒の学習の場を校外に移して広い知見と豊かな情操の育成に資するものであるのであります。

このように修学旅行は、学校の教育活動の一環として行なわれるものであります。

財団法人・全国修学旅行研究協会は、修学旅行の教育的意義を高め、その実施内容を豊かなものにするため、研究会、講演会などを開催されるなどして、ご尽力されているとうかがっております。

創立十周年を迎えられた同協会が、この機会にその機能をさらに充実され、修学旅行の諸問題解決に一層のご努力を払われることを切望してやみません。

大きな役割果たす

東京都知事 東竜太郎

このたび財団法人全国修学旅行研究協会が創立十周年を迎えられましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

ご承知のとおり修学旅行は、青少年に夢を与え、思い出をつくるとともに各地を直接訪れることによって、その視野を一段と拡大する役割をもっております。

財団法人全国修学旅行研究協会におかれては、創立以来、修学旅行の教育的開発の母体として、安全で楽しい有意義な修学旅行を実施いたすべく活発な活動を続けられ、数々の成果をあげられたのでありまして、この間の関係各位のご努力に対し敬意を表する次第であります。

東京では、日本の首都として世界に誇り得る明るい美しい都市の実現を念願して、目下美化運動を協力に推進いたしておりますが、いずれの地を旅行される場合においても、旅先きで直接ふれるわれわれの共有財産とも申すべき文化財や自然美を大切に扱うことは修学旅行のもつ重要な意味の一つであると存じます。

今後、修学旅行をより有意義なものとするためには、教育関係各位をはじめ、各方面の方々の深いご理解と積極的なご協力が必要でありますが、その中で中心的役割を果たしておられる貴協会のご活躍に期待するところは極めて大きなものがあると存じます。

ここに十周年を迎えられた貴協会の一層のご発展を心からお祈りいたします。

教育的開発へ期待

熊本県知事 寺本広作

財団法人全国修学旅行研究協会設立十周年記念にあたり、お祝いを申し上げる機会を得ましたことは私の最も慶びとするところであります。

平素全国的な修学旅行の教育的開発の母体として強力な運動を展開され、生活文化の向上に大きな貢献をされておりますが、このたび財団設立十周年を迎えますます団結を強化され、一層のご努力を念願する次第であります。

修学旅行で特に大切なことは教育、衛生、輸送であり、その目的事前調査、計画など総合的に十分検討すべきであると存じます。

なかでも交通問題がさいきん世論をにぎわせていますが、これは真剣に対策をたてねばならないと思います。交通事故は楽しい修学旅行を一瞬にして悲嘆のどん底におとしいれることだけに、慎重に慎重を加えなければなりません。全国修学旅行研究協会の使命はますます重大といわざるを得ないと存じます。

さらに一般国民の理解協力の促進が緊要であると思います。

最後に貴会の前途を祝しますとともに、今後一層のご発展を祈りましてごあいさつといたします。

知的な修学旅行を

衆議院議員 文教委員 原田憲

財団法人全国修学旅行研究協会設立十周年を迎えられ、心からお喜び申上げます。

実は私は九月末から、十月中旬かけて、五年振りにヨーロッパ、アメリカを視察して来たのですが、この五年間の日本の成長振りは著しく、ヨーロッパ、アメリカでは五年前に受けた驚きも最早なく、ユーゴースラヴィヤとか、メキシコに赴いて初めて異国情緒というか、後進性と日本との差を見出しました。

その根底をなすものは、日本人の教育の力であり、それは明治維新や、新しい六三制度の教育制度だけのもたらしたものではありません。わが民族千は一年の昔、知識を求めて支那海の荒波を越えて修学の旅を続け広く知識を世界に求めました。それがわれわれの時代まで受け継がれて来ています。

協会役員はじめ皆さんの今後のご努力とご研鑽をお願いしてご祝辞とします。

全修協の信条

★われわれは教育を熱愛し、友愛と信義を基盤とする同志的組織のもとに団結する。

★われわれは全修協創設の精神にのっとり、公益法人として、児童生徒の幸福のため挺身する。

★われわれは修学旅行の改善向上に邁進し、わが国の教育振興に寄与する。

本号は「全修協創立十周年記念号」として特集、十二月号も同じく記念号として発行します。各界代表者および各支部長からのご寄稿は次号に掲載いたします。

祝 財団法人 全国修学旅行研究協会 創立10周年

全国都道府県教育委員長協議会　会長　田中義男
都道府県教育長協議会　幹事長　小尾乕雄
全国都市教育長協議会　会長　千葉清治
全国市町村教育委員会連合会　会長　柿沼末太
関東地区中学校修学旅行委員会　会長　篠原秀男
東海三県修学旅行委員会　会長　岩瀬繁一
近畿地区高等学校修学旅行委員会　委員長　堀江駒太郎
近畿地区中学校修学旅行委員会　運営委員長　渡辺鉾一